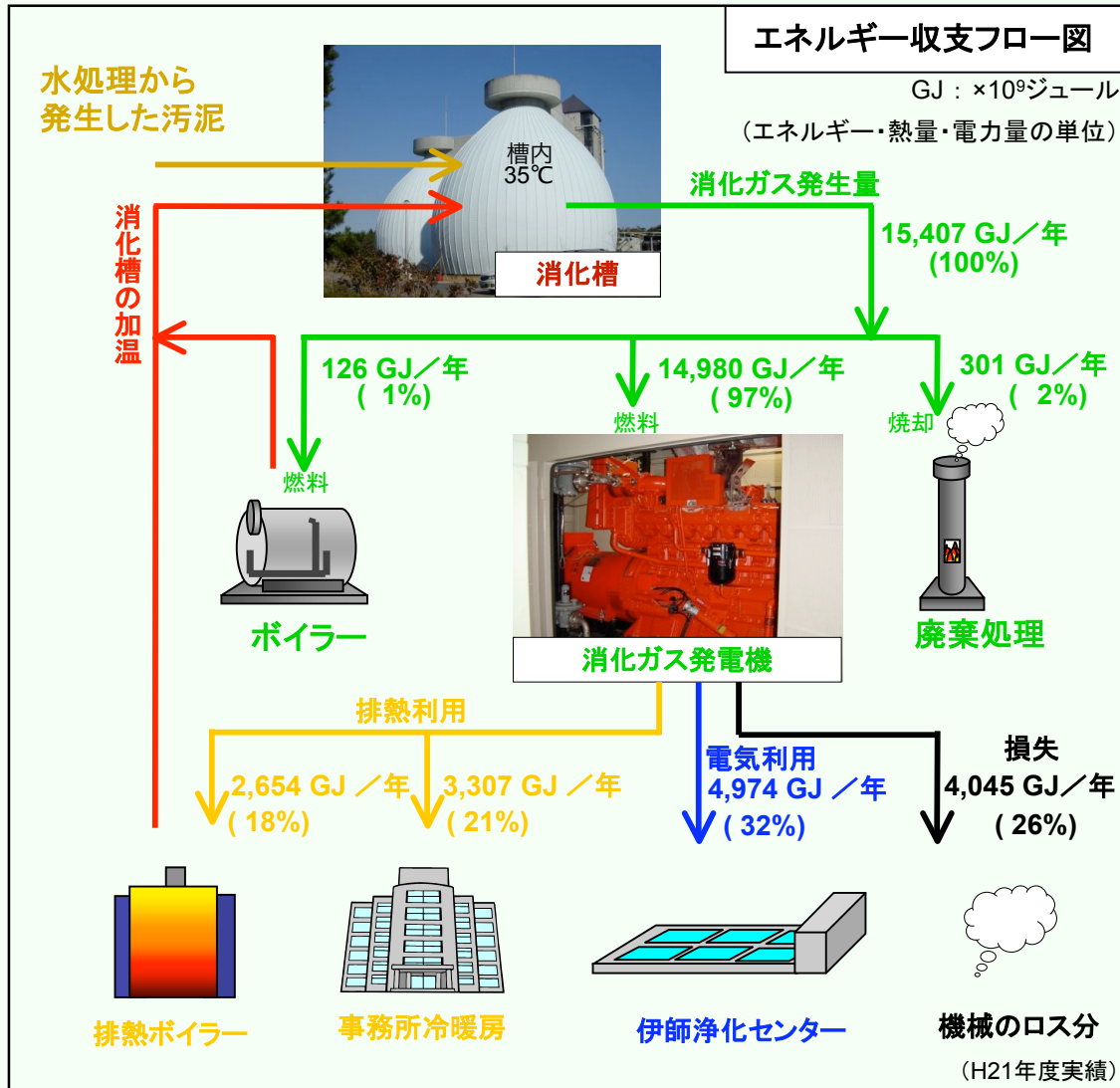


電気量・温室効果ガス排出量を約40%縮減

— 下水汚泥の有効利用 —



●日立・高萩広域下水道組合 伊師浄化センターでは、下水道の汚泥処理工程から発生する消化ガスを有効利用した発電を行っています。

※消化ガスとは、メタンを主成分としており、燃料として再利用できます。

●整備効果として、買電電気量・温室効果ガス排出量は約40%の縮減となりました。縮減した電気量は一般家庭400世帯分、温室効果ガスは杉40,000本分のCO2吸収量に相当します。

●さらに発電機からの排熱を事務所の冷暖房に利用して、燃料費も縮減しました。

